仁淀川町立池川小学校

学校だより

Ikegawa Elementary School

～第４号～平成３１年（２０１９年）４月２３日（火）

仁淀川町立池川小学校　文責;川添
ＴＥＬ（０８８９）３４－３０２５
ＦＡＸ（０８８９）３４―３０２６
ikegawa-e@town.niyodogawa.lg.jp

「心を伝えることができる人に」

小学校では、文字をある程度書けるようになったら、文章を書く練習をたくさんします。授業の中では、黒板をノートに写したり、問題に対する答えを書いたりします。また、作文や日記などの宿題も出ます。子ども達は文章を書きながら、そのプロセスで多くのことを考えていきます。つまり「文章を書く」ことを通して、自分が考えようとしていたことや、思いついたことを頭の外に出して見えるように（可視化）し、頭の中の思考を整理することができるのです。

本校でも「書くこと」を通して、自分自身の考えや行為を順序だてて整理する力をつけるとともに、相手に自分の考えや気持ち（心）を上手く伝えることができる力を育てようと取り組んでいきます。

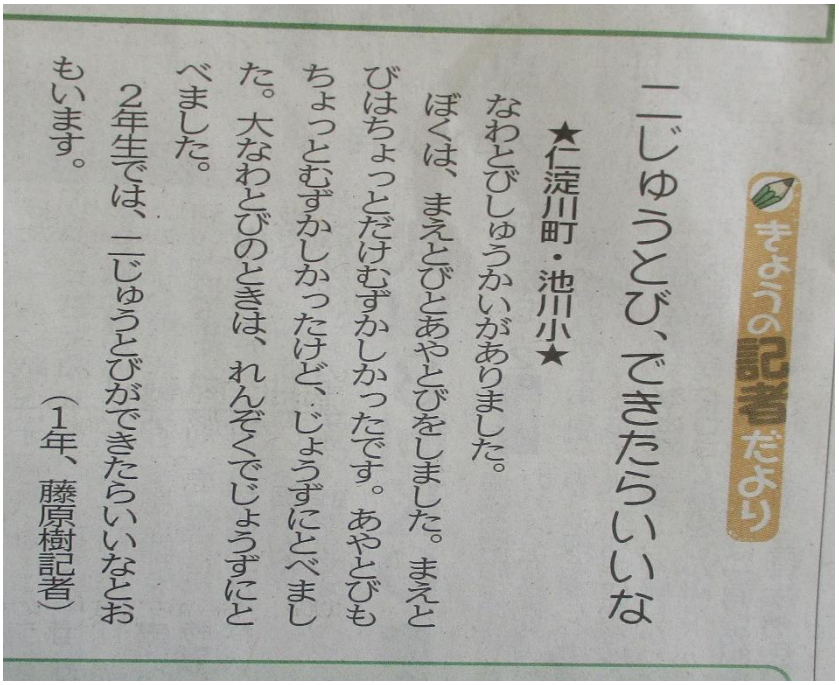
「こども高知新聞」にチャレンジ！（記事・４コマまんが・イラスト・ポエム）

４月７日（日）２年生掛水琉輝さんの「いろんな虫がいるよ」のイラストと、４月１９日（金）２年生藤原樹さんの「二じゅうとび、できたらいいな」の記事が掲載されました。

「こども高知新聞」は、新聞掲載の他に、ＦＭラジオでも放送されます。新聞やラジオから池川小の子ども達の「心」が発信されるよう全校で取り組んでいきたいと思います。

いろんな虫がいるよ

掛水流輝さん
（仁淀川町・池川小１年）



きょうの記者だより

二じゅうとび、できたらいいな

★仁淀川町・池川小★

なわとびしゅうかいがありました。

ぼくは、まえとびとあやとびをしました。まえとびはちょっとだけむずかしかったです。あやとびもちょっとむずかしかったけど、じょうずにとべました。大なわとびのときは、れんぞくでじょうずにとべました。

２年生では、二じゅうとびができたらいいなとおもいます。

（１年、藤原樹記者）

くつ・トイレのスリッパ・ランドセルを見れば、子ども達の心の様子がわかると昔から言われています。大事にし合っていきたいことです。